

さいたま市立内谷中学校



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく

令和元年10月31日

第465号

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 電話 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

「決意と覚悟」

校長 丹 能成

先日の台風19号により、東北地方、関東・甲信越地方をはじめ、広範囲にわたり甚大な被害を受けました。犠牲になった方にお悔み申し上げ、被災された方々にお見舞い申し上げます。

9月の下旬から10月の中旬にかけて、さいたま市中学校新人体育大会が開催されました。大会では、どの競技も子どもたちは一生懸命頑張っていました。ひたむきにプレーする子どもたち姿からは、脈々と受け継がれている内谷の精神をしっかりと確認することができました。県大会に出場する子どもたちには、さいたま市の代表として精一杯力を発揮してきてほしいと思います。

大会を終え、子どもたちには、達成感や充実感、悔しさなど様々な想いがあつたかと思います。“勝って驕らず、負けて腐らず”気持ちを切り替えて次の目標に向かって地道に努力を積み重ねていって欲しいと思います。

ラグビー・ワールドカップ2019日本大会での日本代表の歴史的な快進撃に、何度もテレビの前に釘付けになりました。選手たちのプレーやインタビューで発する言葉の一つ一つから、選手たちの並々ならぬ「決意と覚悟」を感じました。いくつになっても、どんな状況にあつても、未来を切り拓くためには、「決意と覚悟」が必要であることを改めて強く認識しました。

11月を迎え、3年生は、いよいよ進路を決定していく時期となりました。学年を問わず、やがて来る高校受験(検)に不安を抱いている子どもたちも少なくないと思います。受験だけではなく、何事においても、結果は勿論大切ですが、最も大切なのは、どう向き合うか、そこから得たことをその後はどう生かすかです。つまり、経験を通してどれだけ成長できるかです。

子どもたちには、何事にも「決意と覚悟」をもって向き合い、自分を成長させ、一度きりの人生を豊かなものにしてほしいと願っています。

しかし、人生、山あり谷あり。なかなか思うようにはいかないものです。つらくなるときも多々あります。つらくなったとき、私が読み返している言葉があります。最後にそれを紹介します。

道

自分には自分に与えられた道がある。天与の尊い道がある。どんな道かは知らないが、他の人には歩めない。自分だけしか歩めない、二度と歩めぬかけがえのないこの道。広いときもある。狭いときもある。のぼりもあれば、くだりもある。坦々としたときもあれば、かきわけかきわけ汗するときもある。

この道が果たしてよいのか悪いのか、思案にあまるときもあろう。なぐさめを求めたくなるときもある。しかし、所詮はこの道しかないのではないか。

あきらめろと言うのではない。いま立っているこの道、いま歩んでいるこの道、とにかくこの道を休まず歩むことである。自分だけしか歩めない大事な道ではないか。自分だけに与えられているかけがえのないこの道ではないか。

他人の道に心を奪われ、思案にくれて立ちすくんでいても、道は少しもひらけない。道をひらくためには、まず歩まねばならぬ。心を定め、懸命に歩まねばならぬ。

それがたとえ遠い道のように思えても、休まず歩む姿からは必ず新たな道がひらけてくる。深い喜びも生まれてくる。

(松下 幸之助 著「道をひらく」より)

お知らせ

本校職員 須賀 めぐみ 教諭の体調不良による療養に伴い、10月23日付けで代員が配置されました。

<代員氏名> 飯田 弥よひ (いいだ やよい)

<担当教科> 音楽 (第1学年全クラス)

<担当学年> 第1学年 (副担任)